

鶏肉情勢

2026/3/9 更新

全農チキンフーズ(株)

項目	内容
供給	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和8年2月末実施)によると、「1月の処理出荷推計実績は処理羽数が前年同月比101.8%で、前月時点の計画値から1.0%上方修正された。処理重量は同103.7%と、前月時点の計画値から2.9%上方修正されている。現時点での2026年2月の予測は処理羽数が前年同月比99.1%、処理重量は同98.7%の見通しと、前月時点の予測からそれぞれ下方修正されている。3月も前月予測から下方修正されており、処理羽数は97.3%、処理重量は98.6%となった。」と報告されている。工場の人員については引き続き不足が課題となっている中、副産品(小肉・剣状軟骨など)・手羽中半割等の1.5次加工品は機械を導入し製造している産地が引き続き見られ、今後他産地にも広がっていくと予想される。
	2. 輸入 (1) 財務省の貿易統計によると、令和8年1月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から+1.5千トンの46.8千トン、国別ではブラジルが前月+3.3千トンの31.5千トン、タイが▲2千トンの14.8千トンとなった。(独)農畜産業振興機構(ALIC)によると今後の見通しは、輸入量は2月は49.2千トン(前年比103.1%)、3月は47.5千トン(同112.2%)と2月3月ともに増加する予測である。要因としては、「輸入量は、前年のブラジル産の輸入量がブラジル国内及び他国向けの需要の高まりによる価格上昇により低水準であったことや現在の輸入品在庫量が低水準であること等から、2月はやや、3月はかなり大きく、いずれも前年同月を上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期と同水準となると予測する。」とされている。 (2) 令和8年1月の鶏肉調整品の輸入量は前月から▲8.8千トンの41.7千トン、国別では中国が▲5.7千トンの15.2千トン、タイが▲3.2千トンの25.6千トンとなった。 (3) (株)食品産業新聞社発行の畜産日報によると、1月の輸入鶏肉(モモ肉)の価格はブラジル産で600円/kgから650円/kg(前年390円/kg)、タイ産が630円/kg中心(同450円/kg)となっている。要因としては「輸入品は国内在庫が減少傾向にあるなか、市中ひっ迫状態が続く、高値に張り付いている。現地オファーも強気にあるため、買付けを大幅に増やすような状況ではないようだ。」と報告されている。
	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和8年1月の生鮮肉消費(購入)は数量4,199g(前年比99.9%)、金額7,217円(同107.2%)と、数量は前年を下回り、金額は前年を上回った。鶏肉は数量1,566g(同100.2%)・金額1,796円(同108.8%)・単価114.71円/100g(前年同月差+9.1円)と数量・金額・単価ともに前年を上回った。牛肉は数量は前年を下回ったが、金額は前年を上回った。豚肉は数量・金額ともに前年を上回った。
需要	2. 量販・卸 (1) 一般社団法人全国スーパーマーケット協会の販売統計調査によると、令和8年1月の食品売上高は全店ベースで前年比103.6%と前年を上回り、生鮮3部門の売上高は全店ベースで同102.9%、既存店ベースは同101.8%。畜産部門の売上高は約1,307億円で全店ベース同106.6%、既存店ベース同105.4%となった。また同社が取りまとめたスーパーマーケット景気動向調査によると、「引き続き、価格高騰を背景に豚肉・鶏肉への需要シフトが継続している。豚肉はしゃぶしゃぶ用、挽肉、大容量パックなど日常使い商材が伸長した。輸入豚の販売強化とのコメントがみられた。鶏肉は相場高が続く中でもモモ・ムネなど定番部位は堅調で、鍋用途の需要は地域差が見られた。牛肉は依然として相場高が継続するも、週末を中心に銘柄牛や和牛に回復傾向が一部店舗でみられた。また切落し・スライスなど手頃な価格帯商品は好調となった。加工肉は、ハム・ベーコン・ソーセージ類は低調との報告が多い。ラム肉の高騰による影響を指摘するコメントもみられた。」と報告されている。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによると令和8年1月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比101.4%の4.2千トンとなった。うち国内品は同91.5%の3.1千トン、輸入品については同145.2%の1.1千トンと輸入品は前年を上回ったものの、国内品は前年を下回る結果となった。
在庫	1. 令和8年1月 (1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)の1月末時点推定期末在庫では国産品36.8千トン(前年比140.2%)、輸入品112.2千トン(同80.6%)、合計で149.0千トン(同90.1%)となった。
	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、1月の出荷量は国産品144.3千トン(前年比101.6%)、輸入品46.3千トン(同96.2%)、合計190.6千トン(同100.3%)となり、前月からは国産品・輸入品の出荷量はともに減少した。2月以降、「出荷量は、2月は前年同月をわずかに上回る一方、3月は前年同月並みと予測する。期末在庫は、2月はかなり大きく、3月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、過去5カ年の同月平均との比較でも、2月はかなりの程度、3月はかなり大きく、いずれも下回る(2月:9.4%減、3月:12.3%減)と予測する。」とされている。
相場	1. 令和8年2月動向 (1) 令和8年2月の月平均相場は、モモ肉830円/kg(前月差+1円)・ムネ肉522円/kg(同▲16円)正肉合計で1,352円/2kgと前月差▲15円、前年同月差+214円となった。(株)食品産業新聞社発行の畜産日報によると、「国産生鮮物はモモ、ムネともに依然として高止まり傾向にある。輸入品の高騰を受けて一部は国産にシフトする動きもあり、相場を下支えする要因になっているとみられる。現物の荷動きはモモを中心に堅調で、気温の高まりに伴ってムネの活発化が期待される。輸入品はとくにブラジル産で入荷が少なく、市中の出回りも少ない。現地オファーも引き続き強気で、この先も高値続きが予想される。」と報告されている。
	2. 見通し (1) (一社)日本食鳥協会による生産・処理動向調査では、2月の生産状況は入雛羽数・処理羽数・処理重量ともに前年同月比を下回る見込みである。国産鶏肉相場は年明けより落ち着く予測であったが、モモ肉は輸入鶏肉の価格高騰による国産への需要シフト等もあり、2月平均相場は最需要期である12月(777円/kg)、1月(829円/kg)より高値(830円/kg)となった。ムネ肉は、4月以降の高相場を受け加工原料および量販店店頭において一部輸入品に切り替わり荷動き自体は鈍いものの、相場は依然として高値が続いている。 輸入鶏肉の価格高騰はしばらく続くとの見方もあり、今後の動向には注視が必要である。 このような事を踏まえ今後の相場は、モモ肉は3月は820円、ムネ肉は加工原料が一部輸入品への代替えが続く状況の中、一部の量販店で国産鶏肉ムネ肉の販売強化もみられ、やや弱含みの510円前後で推移すると予測する。 (2) 令和7年シーズンの国内養鶏場・家さん農場における鳥インフルエンザは、3月9日(月)時点で21事例確認されている(採卵鶏15事例、肉用鶏5事例、うずら1事例)。

実績

生産状況											単位:千羽、千トン、%	
履歴	R7年累計(推計)		R8年1月実績(推計)		R8年2月計画		R8年3月計画		R8年4月計画			
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比		
入雛羽数	805,066	101.4%	67,567	100.0%	60,009	95.8%	62,905	97.0%	63,789	93.7%		
処理羽数	763,029	101.6%	62,292	101.8%	58,365	99.1%	64,392	97.3%	62,807	95.4%		
処理重量	2,299.0	101.1%	192.1	103.7%	176.8	98.7%	195.8	98.6%	190.6	95.3%		

※参考資料: (株)全国食鳥新聞社発行「PMN」

輸入動向												単位:千トン、%	
品名	鶏肉			調製品			合計			比率			
	履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品	
R6年累計	639.2	584.9	109.3	503.2	478.0	105.3	1,142.4	1,062.9	107.5	56.0	44.0		
R7年累計	591.5	639.2	92.5	529.8	503.2	105.3	1,121.3	1,142.4	98.2	52.8	47.2		
R7年9月	57.8	49.1	117.6	45.0	39.9	112.8	102.8	89.0	115.5	56.2	43.8		
R7年10月	57.3	62.3	92.0	49.0	47.9	102.2	106.3	110.2	96.4	53.9	46.1		
R7年11月	43.1	52.0	82.9	47.3	46.2	102.4	90.4	98.2	92.1	47.7	52.3		
R7年12月	45.4	49.9	90.8	50.5	45.6	110.8	95.9	95.5	100.4	47.3	52.7		
R8年1月	46.8	52.3	89.5	41.7	38.6	108.0	88.5	90.9	97.4	52.9	47.1		

※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

鶏肉の消費動向							単位:グラム、円、%			相場(年別・暦年)			単位:円	
履歴	数量			金額			H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比								
R6年平均	1,552	1,495	103.8	1,586	1,547	102.5	595	282	877					
R7年平均	1,555	1,552	100.2	1,682	1,586	106.0	585	243	828					
R7年9月	1,441	1,526	94.4	1,599	1,467	109.0	614	269	883					
R7年10月	1,583	1,584	99.9	1,734	1,595	108.7	641	313	954					
R7年11月	1,630	1,586	102.8	1,789	1,629	109.8	662	348	1,010					
R7年12月	1,833	1,801	101.8	2,112	1,993	106.0	730	395	1,125					
R8年1月	1,566	1,563	100.2	1,796	1,650	108.8	655	369	1,024					
							774	500	1,274					

※参考資料: 総務省統計局HP 家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)

在庫状況(推定)										単位:千トン、%	
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R7年9月	33.9	33.2	102.2	130.3	136.5	95.4	164.1	169.7	96.7		
R7年10月	34.4	32.2	107.0	129.9	141.1	92.0	164.3	173.3	94.8		
R7年11月	35.2	30.8	114.4	121.6	139.3	87.3	156.8	170.1	92.2		
R7年12月	36.4	29.6	123.0	111.7	134.9	82.7	148.0	164.5	90.0		
R8年1月	36.8	26.3	140.2	112.2	139.2	80.6	149.0	165.4	90.1		

※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

出回り量(推定)										単位:千トン、%	
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R6年累計	1,721.2	1,689.0	101.9	619.9	606.3	102.2	2,341.1	2,295.4	102.0		
R7年累計	1,725.4	1,721.2	100.2	614.8	619.9	99.2	2,340.2	2,341.1	100.0		
R7年9月	141.8	137.9	102.9	54.2	50.5	107.3	196.1	188.4	104.1		
R7年10月	150.6	148.6	101.4	57.7	57.7	100.0	208.4	206.4	101.0		
R7年11月	142.2	145.7	97.6	51.3	53.8	95.5	193.5	199.4	97.0		
R7年12月	154.6	155.6	99.3	55.3	54.3	101.9	209.9	209.9	100.0		
R8年1月	144.3	142.0	101.6	46.3	48.1	96.2	190.6	190.1	100.3		

※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

相場(月別)										単位:円、%	
品名	モモ肉			ムネ肉			正肉合計				
	履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	
R5年度平均	700	702	99.7	384	371	103.5	1,084	1,073	101.0		
R6年平均	655	730	89.7	369	395	93.4	1,024	1,125	91.0		
R7年平均	774	655	118.2	500	369	135.5	1,274	1,024	124.4		
R7年11月	736	690	106.7	545	392	139.0	1,281	1,082	118.4		
R7年12月	777	730	106.4	539	404	133.4	1,316	1,134	116.0		
R8年1月	829	745	111.3	538	403	133.5	1,367	1,148	119.1		
R8年2月	830	744	111.6	522	394	132.5	1,352	1,138	118.8		
R8年3月	(820)	740	110.8	(510)	392	130.1	(1,330)	1,132	117.5		
R8年4月	(815)	740	110.1	(510)	392	130.1	(1,325)	1,132	117.0		

※()は見通し